先人の団結を学び新たな飛躍を

賃金・単価・労働条件を改善し

人が育つ明るい建設産業へ

組合創立 60 周年式典･祝賀会

昭和 32 年３月９日、80 人の仲間が「建設職人・労働者が固く手を結び、暮らしを安定し、病気・ケガや失業する不安からお互いに力を合わせ暮らし向きを良くしよう」との思いを込め、秋田商工会議所での結成大会から 60 年。歴史と伝統を受け継いだ秋田建築労働組合は９月３日、組合創立 60 周年記念式典と祝賀会を秋田ビューホテルで開催し、来賓 50 人、組合員２１８人が出席し盛大に祝いました。

記念式典会場の準備も整い、式典に出席される方々の受付準備も整いました。

本部役員も整列をして式典参加者、ご来賓を出迎えました。早期、沢山の方々がお見えになり受付を済ませ会場へ。和やかな雰囲気の中、開会を待ちました。

元気な姿を見せてくれた茜屋弘さん（元副組合長・新屋支部）もにこやかに談笑していました。

奈良副組合長の挨拶で式典が開会しました。

主催者を代表して佐々木澄夫組合長が「戦後から12年。勤勉な国民性のもと、素早い復興を遂げ住環境はもとより建設産業の発展のため建設職人は大きな役割を果たしてきました。しかし建設職人の内、処遇の面で旧来からの風習・慣習のままで新時代に相応しくない思いを強く抱くようになり、昭和32年３月９日、大工職80人の仲間が秋田建築労働組合を結成し、20周年には組合員が２０００人を突破、30周年祝賀会では組合員５００人が出席して団結の強さを証明しました。今日では５６００人を数え組織人員の増加に伴い県北、県南、本荘由利事務所を開設し全組合員の利便性も向上しました。平成19年に行われた 50 周年記念式典には組合結成に奮闘された方々も出席され往時を懐かしんでおりましたが、その後の 10 年を数える間に歴史の証人は鬼籍に入られました」と組合の歩みと今日の礎となられた先達に対し感謝の念と追悼の意を表し「団結のもと生活の向上、社会保障の確立、賃金の適正化、技術技能の向上、志の同じ団体と協力連携を図ろうなど、理念は創立以来一貫され今日に至ります」と述べた。

続けて「昨今の住宅事情の変化により伝統工法に誇りを持つ熟練職人は時代の流れに戸惑いを隠せないのが事実で、仕事の量も職種によって減少しました。リフォーム市場の活性化に伴い異業種の参入で熾烈な受注競争が展開されています。業界の課題が

山積している中、秋田市の公契約基本条例の制定はねばり強く必要性を訴えた成果であり今後の活動の弾みになります」と話し「創立 60 周年と言えば人生なら還暦、結成当初に回帰し先輩たちに思いをはせ、苦難に負けない強固な組合をつくっていきます」と述べ、出席された組合員と来賓の皆さんのご健勝を祈念し、指導・ご協力をお願いしたいと結びました。

表彰

次に組合活動に尽力された方々22 人に対し表彰式が行われました。おめでとうございます。

組合長歴任者

千秋支部　伊藤和雄さん

副組合長歴任者

新屋支部　茜屋弘さん

秋田東支部　千田忠誠さん

土崎支部　越後谷邦夫さん

五城目支部　工藤六男さん

能代支部　佐々木長正さん

支部長歴任者

大住支部　相場徹郎さん

大仙・美郷支部　高橋正一さん

秋田南支部　石井重信さん

会計監査歴任者

秋田山王支部　長谷川淳司さん

豊浜支部　渡邉　章

秋田東支部　鎌田清孝さん

井川支部　升屋修さん

飯島支部　池田弘さん

五城目支部　田原忠男さん

河辺支部　鈴木清隆さん

昭和支部　栗山厚さん

大舘支部　佐々木利雄さん

能代支部　伊藤忠夫さん

二ツ井支部　山谷康太郎さん

表彰者を代表して、永年、組合活動の第一線で活躍された伊藤和雄元組合長が「この 10 年間で世の中が相当変わり、建築産業に携わる人たちにとって本当に大変な時代になったが、精いっぱい努力し今後の組合運営を続けて頂きたい。建築産業で働く仲間がいなければ、住宅産業も成り立たちません。これからも組合に対して協力をしていきたい」と謝辞を述べました。

来賓からお祝いと激励のあいさつをいただきました。（ご挨拶につきましては組合ＨＰ「建労 NEWS 10 月号」を閲覧ください。

祝辞を述べる全建総連　三浦一男中央執行委員長

穂積志秋田市長

寺田学衆議院議員

中建国保組合　村上雄一理事長

滞りなく進み、船木副組合長の閉会の挨拶で記念式典を終えました。休憩を挟んで祝賀会へ。

祝賀会

オープンドアを前にロビーで寛ぐ参加者の皆さん

会場に入り各テーブルに着席し開会を待ちます。

ずらりと並んだ地酒の数々。やはり秋田の酒は最高においしいと大変好評でした。

佐々木組合長のあいさつで始まり、来賓紹介後、あきた舞妓による演舞が披露され華やかな雰囲気の中、艶やかな着物、しなやかで優美な舞が祝賀ムードを盛り上げ、盛大の鏡開き、来賓を交え２８０人で乾杯を行いしばし宴に。

和やかなムードの中、佐々木組合長のあいさつで始まりました。

あきた舞妓による演舞が披露され華やかな雰囲気の中、艶やかな着物、しなやかで優美な舞が祝賀ムードを盛り上げました。

来賓を交え２８０人で乾杯を行いしばし宴に。

　あきた舞妓も各テーブルを回りました。
祝賀会に参加された各支部組合員の皆さん。

全建総連　勝野圭司書記長の発声もと参加者全員で万歳三唱を行い、最後に照井書記長が閉会の挨拶で「明日から、また新たな気持ちで 70 年、80 年を目指し一丸となって頑張りましょう」と決意を述べました。

宴もたけなわ、別れを惜しみつつ帰路につきました。